

特集 2015年映画ベストワン

「シネマ游人」^{ゆうと}が選んだ

2015年日本映画ベストワン

作品賞	『あん』	
監督賞	呉美保	『きみはいい子』
主演男優賞	永瀬正敏	『あん』
主演女優賞	樹木希林	『あん』
助演男優賞	志賀廣太郎	『幕が上がる』
助演女優賞	黒木華	『幕が上がる』
新人賞	藤野涼子	『ソロモンの偽証』

※次ページ「シネマ游人ノミネイト」参照

【総括】

昨年の日本映画は質量ともに低調だった。特に夏場の落ち込みがひどい一年であったが、「シネマ游人」は最優秀作品に『あん』を選んだ。今までどちらかと言えば、小難しい作品が多かった河瀬直美監督だが、今回は前科者とハンセン病患者という過去を背負った男女を対峙させ、小品だが見事な

人間ドラマに仕上げている。当て書きをしたといわれる老女優の樹木希林の枯淡の味、心に闇を抱えた男の永瀬正敏。この2人のキャストイングが成功の要因だろう。

第2位の『海街ダイアリー』は、いつもの是枝裕和監督の家族ドラマ。3姉妹の中に異母妹が入って来ることによる確執を小津の世界を思わせる映像で見せる。異母妹にあたる広瀬すずが爽やかで素晴らしい。

第3位は同点で4作品が並んだが、編集部の判断で『恋人たち』を選んだ。人の日常生活を、まるで隠しカメラで追っているようで、つくりものといった気配がしない。橋口監督の体験に基づく目線の低さに説得力がある。

その他に光った作品としては、ラブホテルに出入りする男女の24時間を描いた群像劇『さよなら歌舞伎町』。中学生の校内裁判という難しいテーマに果敢に挑戦した力作『ソロモンの偽証』。ベタなストーリーだが巧みな演出により出色の作品となった『幕が上がる』。年末ギリギリになってリリースされた兄弟の愛憎を描いた秀作『ディー・ディー』などが印象に残った。

個人賞ということになると、一昨年の安藤サクラや綾野剛のような突出した華のある俳優は出てこなかった。それはとりもなおさず話題作が少なかったことに繋がる。新人賞の藤野涼子、それに続く広瀬すずたちが、今後どう伸びるか見守ろう。

(林)

東京スポーツ映画大賞

大賞 『龍三と七人の子分』

監督賞 北野たけし『龍三と七人の子分』

主演男優賞 藤竜也 『龍三と七人の子分』

主演女優賞 綾瀬はるか 『海街diary』

助演男優賞 近藤正臣他、

『龍三…』出演全男優

助演女優賞 長澤まさみ 『海街diary』

新人賞 広瀬すず 『海街diary』

東京スポーツ映画大賞とは

「シネマ游人」（登録名は三重映画フェスティバル）は、東スポ映画賞の審査員になっている。毎年、年末に一年間の優秀作品、俳優を、各3位までノミネイトし、東京スポーツに提出。全国10の映画祭が選んだ対象と合わせ、審査委員長のビート・たけしにより大賞を決定している。

シネマ游人ノミネイト

作品賞 ①あん、②海街diary ③恋人たち

監督賞 呉美保、河瀬直美、橋口亮輔

主演男優賞 永瀬正敏、佐藤浩市、桐生コウジ

主演女優賞 樹木希林、成瀬瞳子、中村ゆり

助演男優賞 志賀廣太郎、光石研

リリー・フランキー

助演女優賞 黒木華、工藤夕貴、南果歩

新人賞 藤野涼子、広瀬すず、森川葵

キネマ旬報賞

作品賞 ①恋人たち、②野火、③ハッピーアワー

監督賞 橋口亮輔

主演男優賞 二宮和也

主演女優賞 深津絵里

助演男優賞 本木雅弘

助演女優賞 黒木華

新人賞 広瀬すず、篠原篤

毎日映画コンクール

作品賞 ①恋人たち、②岸辺の旅

監督賞 塚本晋也

主演男優賞 塚本晋也

主演女優賞 綾瀬はるか

助演男優賞 加藤健一

助演女優賞 長澤まさみ

新人賞 野田洋次郎、藤野涼子

報知映画賞

作品賞 ソロモンの偽証

監督賞 堤幸彦

主演男優賞 佐藤浩市

主演女優賞 樹木希林

助演男優賞 本木雅弘

助演女優賞 吉田羊

新人賞 広瀬すず

日刊スポーツ賞

作品賞 ソロモンの偽証

監督賞 原田真人

主演男優賞 高良健吾

主演女優賞 綾瀬はるか

助演男優賞 本木雅弘

助演女優賞 長澤まさみ

新人賞 広瀬すず

映画芸術

ベスト3作品

①この国の空、②ハッピーアワー、

③GONINサーガ

東スポ映画大賞授賞式に出席して

日時・2月28日 会場・東京プリンスホテル

「シネマ游人」には、毎年授賞式の招待状がくる。今年は、私にその出番が回って来た。たけしファンにとつて願ってもないチャンスなのだ。会場は華麗なシャンデリアが輝くプロビデンスホール。

開演10分前になると、ステージの袖から作品賞に輝いた『龍三と七人の子分たち』の藤竜也をはじめとするメイン出演者、続いて是枝裕和監督率いる『海街diary』の綾瀬はるか、長澤まさみ、広瀬すずなど旬の豪華女優陣が続々と会場入りし、円卓すべてが芸能人一色に染まった。

午後4時、いよいよビートたけしがステージに上がり開口一番「いやー昨年もつまらない映画ばかりだったねえ！東スポ映画大賞は独断と偏見でオレがすべて決めてるんじゃないかといわれているけど本当のことだぜ。今年は是枝監督とオレの作品以外、見るべき映画はなくて、他の映画は屁みたいなもんだよ」と言い「たけし節」全開で会場を爆笑の渦に巻き込んだ。

是枝監督の『海街diary』の主演女優賞の綾瀬はるか、助演女優賞の長澤まさみ、新人賞の広瀬すずが登壇すると会場

の空気が一瞬に華やいだ。しかも綾瀬がたけしの前で仰天の「コマネチ！」をすると長澤、広瀬も続き、美人女優3人とたけしで、まさかの「4Pコマネチ」で会場を湧かせた。クライマックスは、たけし自身が獲得した監督賞のトロフィーと賞状を是枝監督に渡し、監督賞を譲るという前代未聞のサプライズに会場は、爆笑と拍手喝采の嵐となり幕を閉じた。

(森)



表彰式風景



表彰を受ける綾瀬はるか



会場玄関にて



龍三と七人の面々